

その人らしい地域生活を目指して ～医療と福祉が一緒に考える～

平成26年4月に精神保健福祉法の一部改正が施行され、精神科病院が「地域援助事業者と連携」し「退院促進のための体制整備」をすることにより、新たな長期入院者を生まないための取り組みを強化していくこととなりました。入院患者の地域移行を進め、長期入院を予防するためには、医療と福祉が互いの役割を理解し、それぞれの強みを生かして連携することが欠かせません。

今回の研修では、医療従事者と地域の支援者が手を携えて地域移行を進めるための体制づくりを学ぶとともに、互いの役割や強みを理解し機能的に連携していくための方策について考えることを目的としております。



日時:平成28年12月17日(土)13:00～17:30(受付12:30～)

会場:仙台市役所8階ホール(仙台市青葉区国分町3丁目7番1号)

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

※土曜開催ですので、当日は正面玄関ではなく北側通用口からお入りください

講演 その人らしい地域生活を目指して
～医療と福祉が一緒に考える～

講師 サポートセンターきぬた 金川 洋輔 氏

(東京都地域移行コーディネーター、精神保健福祉士、相談支援専門員)

H10,2～精神科クリニックデイケアを経て、H14,7～サポートセンターきぬたの立ち上げに関わり勤務。
H16～東京都退院促進モデル事業、H18～世田谷区退院促進支援事業、H20～東京都退院促進コーディネーター事業、H24～東京都地域移行促進事業のコーディネーターとして活動中。
世田谷区自立支援協議会委員(H21年度～)、世田谷区自立支援協議会地域移行部会長(H21-26年度)等。
支援の三角点設置研究会でも研修やガイドライン作りで活動。

事例紹介 宮城県立精神医療センター 看護師 笠原 猛氏
同 作業療法士 安達 健朗氏
向日葵ライフサポートセンター 精神保健福祉士 及川 恵里佳氏

グループワーク

テーマ 医療と福祉の連携

互いの役割と強み、連携により期待できること

対象: 精神科に関係する医療従事者・
障害者相談支援事業所職員・行政職員

定員:100名 (参加費は無料です)

申込締切り:平成28年12月2日(金) 裏面申込書でEメールまたは郵送でお申し込みください

お問い合わせ

○仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぽーと仙台) 担当 君市、佐伯、福田

○一般社団法人 日本精神科看護協会宮城県支部事務局 担当 菅原

お申し込み先

仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぽーと仙台)

住所:仙台市青葉区荒巻字三居沢1-6 電話:022-265-2191

研修申し込み専用Eメールアドレス: heartport_kensyu@city.sendai.jp